

036 南北朝時代 政治史1 建武の親政

< 後醍醐 天皇 >

◎ 光厳天皇の即位否定。

◇ 建武の新政

理想① 醍醐・村上天皇の親政

理想② 中国風の皇帝専制政治

(観心寺での宋学影響)

→ 天皇への権力集中

幕府廃止、摂政・関白廃止

院政も否定、先例否定

天皇の命令の 綸旨 で

政治の全てを動かすと宣言

◎ 光厳天皇 を殺さず。

◇ 新政の機構

① 記録所 (重要政務)

② 雑訴決断所 (所領訴訟) 楠木正成

③ 武者所 (京都警備) 新田義貞

④ 恩賞方 (恩査定) 楠木正成・名和長年

⑤ 東北に 陸奥将軍府

陸奥将軍…^{のりよし}義良親王 補佐^{きたばけあきい}北畠顕家

⑥ 関東に 鎌倉将軍府

鎌倉将軍…^{しげよし}成良親王 補佐^{あしかがただよし}足利直義

⑦ 各国に 守護 と 国司 並置

◇ 新政への不満

● 武家社会 の 慣習 無視

● 所有権は 綸旨 で個別確認(個別安堵法)

→ 全国から上京、確認殺到。政務渋滞。

問 36 新政に武家が不満なのは

分かる。しかし公家までが

不満、不評だったのはなぜか。

答え **先例や合議政治の否定に反感**

◎ ^{もりよししんのう}護良親王、征夷大將軍として自ら幕府を開こうとした→後醍醐により鎌倉流罪。

◎ 後醍醐「武士の棟梁は、父に逆らう

護良親王ではだめだ。忠誠心の厚い

足利尊氏がよい。」尊氏感激。

◎ 「二条河原落書」

に新政の混乱の様子。匿名。ラップ調。

このごろ都にはやる物、
夜討ち強盜偽綸旨、
召人早馬そら騒動。
生首選俗まま出家
にわか大名迷い者
安堵恩賞そらいくさ
本領離るる訴訟人…

◇ 新政2年あまりで崩壊

北条時行、誣訪で拳兵。

足利直義、町田で迎え撃つも敗北。

直義、鎌倉流罪の護良親王を殺害して逃走。

時行、一時的に鎌倉の覇者となったので、

彼を 中先代 と呼ぶ。

(中先代の乱)

◇ 「大好きな弟が危ない！」と

許可なく 足利尊氏 出陣

途中から 京極高氏 合流「助けるぜ」

→ 敏戦の末 北条時行 軍壊滅。

→ 尊氏、戦ってくれた武士たちに

所領を与えて報いる。

◇ 建武の乱

① 直義「勝手に恩賞を与えた尊氏を

許さぬ 綸旨 が出ました」

と偽綸旨を見せる→尊氏、悩んだ末反旗。

② 箱根・竹ノ下の戦い

後醍醐、足利追討綸旨→やっぱり尊氏出家。

討伐軍総大将は新田義貞→直義敗北。

→ 尊氏戦線復帰。新田軍撃破。